

留 学 報 告 書

記入日:2018年2月8日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 商学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska at Omaha
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月10日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:1月中旬～5月上旬 2学期:8月下旬～12月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15731人
創立年	1908年

留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル\$)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	2,400	264,000円	学生寮
食費	1,180	130,000円	
図書費	10	1,100円	
学用品費	15	1,650円	
教養娯楽費	350	38,500円	
被服費	230	25,000円	
医療費	20	2,200円	
保険費	1380	150,000円	形態:明治大学5万、留学先10万
渡航旅費	2,350	258,500円	
雑費	100	11,000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	8,035	882,000円	

渡航関連

渡航経路:羽田→ミネアポリス→オマハ

渡航費用

チケットの種類 格安航空券

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 約 24 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

STAトラベル

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3)住居を探した方法:

大学の斡旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチンで4人で、風呂場を2人で共用します。個室なのでプライバシーは確保されるうえ、ルームメイトと話す機会も多くあり、楽しい時間を過ごすことができました。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人に相談しました。窓口もあります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在シカゴ日本国総領事館(要は外務省)からメールで収集。しかし、現地は治安が良く犯罪や怖い思いをした覚えは全くありません。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮内でも学内でもWi-Fi環境は良好で、不自由なく利用することができました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私は、キャッシュパスポートというものを使用しました。指定された銀行口座に振り込むことでチャージされるプリペイドカードであり、使うとその場で引かれるため、デビットカードの要領で使うことができ便利でした。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ガムテープは意外と役に立ちました。味噌も持って行ってよかったですと感じています。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 私は3年からの留学で就職活動も考え、1年選ぶ勇気がなかったため、半年にしました。帰国する時は1年間選ばなかったことをかなり後悔していました。それくらい留学での時間は私にとって貴重な経験でした。半年でも1年でも、就職活動に不安があるからという理由で断念することはもったいないと感じます。11月にポストンキャリアフォーラムという就活イベントもあり参加してみるといいと思います。交換留学生生に対しての就職活動の進め方など相談に乗ってくださるため、私は行ってよかったと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Business	ビジネス入門
科目設置学部・研究科	Business Administration
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、プレゼンテーション(全授業の半分)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	John Johnson
授業内容	ビジネスを広く学ぶ
試験・課題など	マークシート方式 期末試験のみ 週1のプレゼンテーションに加え、テキストの内容から1, 2ページほど word で意見文

感想を自由記入	<p>マネジメント、マーケティング、ファイナンス、起業家精神論等ビジネスに関わるあらゆることを満遍なく学んでいく授業です。週2回の授業のうち片方のクラスでは全員必ずプレゼンテーションをします。ただ、グループで行うため、一人当たりの時間は2分程度です。初めは、緊張して言葉に詰まるときもありましたが、最終的には堂々とスムーズに発表できるようになり拍手を頂いたのはいい思い出です。また、ケーススタディでリーマンブラザーズの経営破綻について論じる短めの論文も課されました。お年を召された方だったので、声ははっきり聴きとりづらかったですが、質問に丁寧応えてくださる素晴らしい教授でした。テストは一発勝負で、約500ページあるテキストほぼ丸々テスト範囲でしたが、こつこつ読んで毎回出る課題(テキストに沿った意見文)をこなしていくことで内容理解はきちんとできたと思います。</p>
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Communication	ビジネスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Business Administration
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Gregory Morin
授業内容	ビジネス文書の書き方が主な内容
試験・課題など	試験はなく、代わりに自分が調べたビジネス関連のテーマを最終報告書として作成し、その内容に関してプレゼンテーションを行った。課題は毎回テキストを読んで答えていく 7,80 問程度のクイズが出題された。
感想を自由記入	<p>この授業が一番きつかったです。ディスカッションもしますが、ビジネス文書もすべてアメリカ方式なので根本から理解が周りより遅れていました。そのため、教授や友人を頼りに取り組んでいきました。最終報告書は 15 ページ以上英語で作成しなくてはならず、ネイティブの友人らに頼んで添削をしてもらい、何とか完成することができました。この授業ほど交友関係をしっかりと築いてきてよかったと思ったものはありません。周りの仲間にとっても助けられました。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behavior	消費者行動論
科目設置学部・研究科	Business Administration
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション、講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jonna Holland
授業内容	消費者の購買行動における考え方や、行動の根拠を学んでいった。
試験・課題など	試験は全 3 回行われた。課題はテキストのリーディングと試験前にレビューシートを作成することが通常課題。加えて 2 人 1 組のバディーを組み、水に関する調査報告書を読んで質問に答えるレポートも課せられた。
感想を自由記入	<p>この授業も一つ困ったことがありました。レポートの作成は 3 段階に分けて行われ、そのうちの一つに、他のバディーのレポートを読み添削するというものがありました。しかしながら、彼らはほとんどアメリカ人であるため、単純な英語スキルでは圧倒的に上手であるため同添削すれば良いのか分かりませんでした。読んでの感想は自分で書き、添削は友達に手伝ってもらいましたが、ちょっと特殊な経験でした。また、この授業では簡単な実験も行い私は被験者として参加したことで授業を楽しみながら受けることができました。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Political Science	国際政治学入門
科目設置学部・研究科	Politics
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Joel Case
授業内容	アメリカ政治を中心に世界の政治運営や、組織のシステムを文化的背景から学んでいく。
試験・課題など	試験は3回行われた。課題はそこまで多くなかった。テキストのリーディングがベース。たまにネットでディスカッションという名前で、自分たちの意見を論じる課題が5,6回ほど出されたり、政治に関する新聞やポッドキャストを読んだり聞いた後、その内容についての要約と、意見を書くレポートが2個課された。
感想を自由記入	この授業は唯一私の専攻とは別に、自分の興味がある分野として取った授業でした。本当は国際関係学を取ろうとしていましたが、履修を組むのが遅く、取れなかったため、政治がメインではありましたが、世界の多くの国に関することを学ぶことができるこの授業を取りました。先生がとてもやさしく、話も面白かったため、教授の中では一番好きでした。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL1 回目受験(6月)
8月～9月	大学の TOEFL 講座に 2 週間参加(8月) TOEFL 勉強
10月～12月	TOEFL2回目受験(10月) 協定留学出願、面接、その後内定(12月)
2017年 1月～3月	留学先大学への出願
4月～7月	履修登録、入寮申請 Jビザ申請手続き 渡航準備
8月～9月	渡航 授業開始
10月～12月	中間試験(10月)、期末試験(12月中旬)
2018年 1月～3月	帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は2年半在住していたタイで、気候や風土から食、行事、そして日常生活まで、タイの文化や慣習に触れることができました。しかし、当時中学生という若さやタイで活発化していた反政府デモの影響などが相まって自ら主体的に行動しにくい環境でもありました。また、まだまだ英語力も未熟で思いを伝えられずにもどかしい思いをしたことも多々ありました。そのような経験から、まだ見ぬ世界を自分で切り開き、より多くの人々とコミュニケーションを取ることで、異文化に触れ、そして多様な価値観、考えに触れて日本以外の世界をもっと知っていききたいという探求心に駆られました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力、特にリスニング力は重要だと感じました。留学前にPodcastを何個か聴いておくといいと思います。私はよくBBC 6 minutes English等を聴いていました。また、授業に備えるという意味でTEDもいいと思います。ただ、一つ言いたいことは、ネイティブの英語は思っている以上に速いです。恥ずかしながら、行った当初ルームメイトがWalmartと言っていたのがwarmerに聞こえ、現地の天候の話をしているのかと一瞬勘違いしてしまった記憶があります。文脈で判断はできましたが、聞いて理解できるに越したことはありません。留学前から英語を聞く機会を多く取るようにしてください。また、日本の文化や伝統、政治等、日本のこともよく知っておいたほうがいいです。よく聞かれましたし、向こうは意見や考えを主張することを当たり前に行っているため、話せないと恥です。特に政治への関心は日本とは180度違うと考えていいと思います。日本はどんな政治の仕組みなの？とか聞かれることもあったので、ある程度知っているといいと思います。
この留学先を選んだ理由	日本人に人気で馴染みのあるカリフォルニアやニューヨークよりも知名度のないところに行くことで、よりアメリカを知ることができると思いました。また、田舎で日本人の数も比較的少ないため、勉学に集中し、英語を話す機会も多いのではないかと考えました。この大学はアメリカ国内でビジネスのレベルが高く、オマハはいくつも企業の本社があるビジネスの町でもあります。私は商学部で国際ビジネスを学んでいたため、その点も魅力的に感じました。
大学・学生の雰囲気	留学生を積極的に受け入れていることもあり、多種多様な学生が集まっていました。学生は皆優しく、それぞれの国や文化を尊重し、一人一人の個性を大切にしている雰囲気が大好きでした。大学のキャンパスは広大で、キャンパス内を循環するシャトルバスも運行しています。私はビジネスの授業を中心に取っていて、ほぼ毎日利用していました。学内ではしばしばイベントが催され、学生生活を盛り上げてくれます。また、ジムも設備が整っていて、ワークアウトをしたり、バレーボールやバスケット、ボウリングをしたりしました。週に1回別の施設ですが、スケートリンクが無料開放され、アイススケートも楽しむことができます。
寮の雰囲気	個室はありましたが、ほぼ4人一組での生活でした。ルームメイトは一人一人個性が強く、楽器が好きでいきなり引いて歌いだしたり、その音楽に合わせて踊りだしたりと私も含めて楽しく愉快的な仲間が揃っていました。料理を作ったり一緒に食べたり、テレビゲームをしたり、サッカーをしたり、ドッキリを掛け合ったりと彼らとはふざけながらも楽しい時間を過ごすことができ、とてもメンバーには恵まれました。近所の部屋とも仲が良く、お邪魔してフードパーティを開いてみんなで食べたり、ゲームをしたりと学生同士交流しやすく、明るい雰囲気が好きでした。また、寮全体でのイベントもしばしば開催され、友達を作りやすい環境であったと思います。
交友関係	先ほどのルームメイトから新たな友達と知り合ったり、とにかく積極的に動いてイベントで話して仲良くなった友人もいました。また、来た当初で大学内の施設や設備が分からないときにたまたま声をかけた人がとてもやさしい人で、教えてもらった後に連絡を交換し、一緒に遊ぶようになって友達になったケースもありました。そして、とてもやさしい彼と彼の友達何人かと遊んでいると、たまたまそこに日本が好きの人がいて、また仲良くなるということもありました。私は、不安もありましたが、主体的に行動しようと常に考え実行していったことでいろいろなことがきっかけで友人を作ることができました。ほかにも、授業で進んで話しかけた人とも友達になったり、ホームパーティに参加して仲良くなった友達もいます。案ずるより産むが易し。恐れるよりもまず行動してみることが大切だと感じました。

<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>授業は大変でした。特に課題の量が日本の比にならないほど多かったです。また、ルームメイトはたいてい夜騒いでうるさかったので、勉強に集中したいときは部屋に戻らず、図書館で勉強するようにしていました。あとは、特に困ることはありませんでしたが、アメリカは 21 歳から飲酒が可能であるため、1 月生まれ私だけバーに入れず友達よりも早く部屋に帰った時もありさみしい思いをしたことはありました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私はビジネスを専攻していました。授業はディスカッション形式が多く、また教授と学生との距離が非常に近い印象でした。初めは教授や学生が何を話しているのかほとんど聞き取れず、不安が増すばかりでした。しかし、教授に質問したり、周りの学生に話しかけて仲良くなって助けを求めたりしたことで授業の内容理解が格段に上がりました。さらに授業内でちょっとした実験を行ったときは積極的に被験者として参加し、能動的な授業参加を心がけることでより集中して取り組むことができましたと思います。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題の量は日本の比になりませんでした。教科書のリーディングだけでなく、クイズと呼ばれるものも 7, 80 問 1 章につき出されたり、毎週プレゼンテーションと意見文を書いたりしました。一番きつかったのは、最後の授業までにビジネスに関連することを自分で調べ、Word15 ページの論文を書いたうえで、10 分間でその内容をプレゼンテーションするというものがありました。これは私一人ではとてもきつかったので、教授に質問したり、授業の友達やルームメイト、友達に読んでもらって添削してもらったりと何人かに協力してもらい完成させることができました。ここでも、友達の存在の大きさに気付かされました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>Friends of Japan という日本人と日本に関心がある留学先大学の学生たちで構成されているサークルに所属しました。大学内や現地の博物館等の施設で、日本文化を伝えるイベントを催したり、ボランティアに参加したりしていました。習字、折り紙、けん玉、だるま落としなどで交流したり、ソーラン節を披露したりして参加者に日本文化を楽しんでもらうことができました。また、そこで活動していく中で、サークルのメンバーとも仲良くなって友達が増え、出かけたり、パーティーをしたり、図書館で勉強したりといった思い出を作ることができました。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>留學生活では、楽しかったことも、辛かったことも、失敗したことも経験しました。しかし、正直日本に帰りたいと思ったことは一度もありませんでした。不安もありましたが、そこから何をすべきか自分なりに考え主体的に行動を起こすことで、友人関係も広がり、彼らと議論することで自分の世界がどんどん広がっていくように感じ、非常に興奮しました。留学を志しているのであれば、どうして留学に行きたいのか、目的や理由を明確にしてみてください。きっと留学で辛いときや必死にもがいているときにそれらはあなたの道標となってくれるはずです。語学力の向上だけでなく、そこを乗り越え成長することができるのも留学の醍醐味のように感じます。だから、恐れずに積極的に動いてみてください。行動することで可能性はどんどん広がります。常に学ぶ姿勢を貫き、そしてとにかく楽しんでみてください。</p>



一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業		外出	
	授業	自習	授業		日本語授業のボランティア	外出	
午後	授業	授業	授業	授業	外出	外出	課題
	課題	課題 or ジム	課題	課題	外出	外出	課題
夕刻	課題	課題	自習	ジム	外出	課題	外出
夜							

